

市民と市役所が

ツナガル通信

発行日：平成 27 年 10 月 29 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階（月～金、9:00～17:00）

TEL：086-803-1062/070-5055-7589

Contents

>> 補助事業のご案内

>> 平成 27 年度市民協働推進
モデル事業中間評価について

>> 平成 27 年度「市民協働推進
モデル事業」のご紹介 Vol. 3

Vol.
5



>> 各種補助事業のご案内 <<

現在、岡山市では岡山市と NPO 等、市民活動団体による協働を推進しています。今回は協働で社会課題の解決を進めるための補助事業についてご紹介します。

平成 28 年度区づくり推進事業

区づくり推進事業は区民が主体的に企画・運営する活動に対して、岡山市が予算の範囲内でその活動資金の一部を補助する制度です。地域の特色を生かした交流イベントを対象とする（1）身近な交流部門（2）広域交流部門、そして課題解決のための継続的な活動を対象とする（3）地域活動部門の 3 つの部門があります。2016 年度の募集は、2015 年 11 月中旬から 2016 年 1 月中旬になる予定です。

次の「地域協働フォーラム」では、区づくり推進事業をはじめとした市内外の地域活動な事例の報告のほか、「地域活動部門」の募集説明も行いますので、申請を検討してみようという方はぜひご参加ください。

地域協働フォーラムでは、区づくり推進事業【地域活動部門】の募集説明も行われます。

>> 「持続可能な地域づくりを考える」地域協働フォーラム開催！ （11 月 3 日（火・祝））

開催概要

【日時】平成 27 年 11 月 3 日（火・祝）13:30～16:30

【場所】岡山県生涯学習センター 大研修室（岡山市北区伊島町 3 丁目 1-1）

※駐車場に限りがあるため、可能な限り公共交通機関でお越しください。

【参加費】 無料



岡山市市民協働推進二一ズ調査事業募集開始

岡山市と NPO 等、市民団体との協働で社会課題を解決するための協働事業を提案することを前提に、当該協働事業で解決を図りたい課題の深刻さ、解決の必要性・緊急性、協働事業により解決が図れる可能性等について、具体的に現状を把握し分析する調査事業です。

「協働」とは「共通の目標の実現」のために、「責任と役割を共有・分担」し、ともに課題解決のために成果を共有することです。共通の目標の設計も、成果の共有も現状が正しく把握できなければ行うことができません。

これから本気で社会を変えたい NPO 等に積極的にご利用いただき、より良い協働事業に繋げていきます。

申込み締切について

- ・第二次募集締め切り：2015 年 10 月 31 日（土曜日）
- ・第三次募集締め切り：2015 年 11 月 16 日（月曜日）
- ・第四次募集締め切り：2015 年 11 月 30 日（月曜日）

平成27年度『市民協働推進モデル事業』中間評価を実施しています。

現在、平成27年度市民協働推進モデル事業では、中間評価を行っています。各団体と担当課がこれまでの成果と課題を持ち寄り、それぞれの指標・項目に基づいて、具体的な改善策や今後の展開を共有しています。（ESD・市民協働推進センターは協議の進行や資料づくりで評価をサポートしています）また、平成28年度の市民協働推進モデル事業については今年11月に募集要項を公開、12月より応募受付を開始する予定です。詳細や関連行事につきましては次号以降の通信でご案内いたします。



平成27年度『市民協働推進モデル事業』のご紹介 V o 1 . 3

岡山市各課と市民（NPO法人等市民団体）が共通の目標達成に向けて、力を合わせて市内の課題解決に取り組む「市民協働推進モデル事業」の平成27年度採択事業の取り組みをご紹介します。

実施
団体

NPO法人
輝くママ支援ネットワークぱらママ



担当
部署

女性が輝くまちづくり推進課

事業名 眠った人財「女性」の再就職を実現推進するためのサポート事業

■協働を通じて、目指すこと。

女性が社会復帰を進めるうえで消極性（不安）やスキルの衰退が問題となっており、また、企業ニーズとのミスマッチも発生しやすく、きめ細やかな情報提供と支援が必要となっています。

女性に対して自身の強みを見つけ、伸ばすための講座を実施するとともに女性と企業との交流・意見交換の機会を設け、相互の意識変革を促していきます。

■協働のススメ ～岡山市職員インタビュー～

女性が輝くまちづくり推進課 宮本典子さん、梅垣浩久さん

協働相手に求める役割や期待することは？

女性が輝くまちづくり、そして男女共同参画を推進するために、市はさまざまな施策を実施しています。協働団体のみなさんと協働することで、それぞれの立場、目指すものを議論し共有しながら、多様な視点のもとに課題解決に向けた事業が実施できることを期待しています。

協働を通じてどのような効果が生まれていますか？

平成26年度は出産や育児などで現在働いていない母親にターゲットを絞り、これから働くことを家庭生活との両立の視点で考え、再就職への不安を解消とともに、前向きに就業に向かうための事業を実施しました。参加者のニーズをくみ取りながら補習や事業後のフォローアップも含め、子育て中の参加者のニーズに柔軟に対応できたと考えています。

また、今年度は昨年度市民協働推進モデル事業を実施したNPOから新たな事業提案を当課にいただき、企画提案を行った結果、再び協働で事業を実施できることになりました。信頼できる協働相手として選んでいただけたことを、大変うれしく思っております。

よりよい協働の実践に向けて展望を教えてください

協働の実践という大げさかもしれませんが、私たちは実際に協働の経験をした立場から、市の他の部署に向け、ESD・市民協働推進センターとともにその効果について伝えていくとともに、これからもさまざまな協働の可能性を探って行きたいと考えております。



協働モデル事業の打合せの様子